

いいまち 議会だより



〈6月定例会〉

安全安心なまちづくり ② ▶ ③

ひとこと広場 ⑦

追跡 あれどうなった ⑧

身近な生活を議論(一般質問) ... ⑧ ▶ ⑱

町民の声を議会へ

地域に根ざすお祭りを求めて ⑳

議会だよりクイズ(応募待っています)

第70号 平成27年7月15日

発行：長野県飯島町議会

26年度最終専決補正

専決で廃止した事業は決算審査で明らかに

平成27年6月議会定例会は、1日から16日までの16日間の会期で開催。町提案の人事3件・条例2件・補正予算7件を審査し、27年度一般会計補正予算(第1号)の審査は委員会に分割付託の後、委員長報告を受け全員一致で即日可決しました。

請願陳情5件はそれぞれ所管の委員会に審査を付託した後、本会議で採択した5件を議員発議により意見書にまとめ可決しました。

一般質問は11人が町政をただしました。

人事の同意など

専決処分の承認

教育委員の任命同意、人権擁護委員の推薦意見。いずれも全員一致で可決。

地方税法の改正に伴うもの。

▽教育委員

・上山隆三氏
(かみやまりゅうさう
いちはらこういち)

(市村幸一氏任期満了による)

▽人権擁護委員

・上原保氏(再任)
(うきはたうほうし
こうさかあきひ)

・高坂彰氏(増員)

◇町国保条例の一部改正

◇平成26年度一般会計

総額2821万円

減額。主なものは歳

入では、町債を17

20万円減額。歳出

では、基金積立20

00万円増額。道の

駅関連の予算212

4万円増額し、総額3億5290万円を27年度に繰り越した。

体的に表わされていないが、表記すべきでは。答 次回から修正する。

問 予算計上してある事業を、専決補正で全額減額し事業を行わないこととする場合は、決算審査に報告を求めるが。

◇後期高齢者医療

737万円減額

◇介護保険

7026万円減額

◇公共下水道

917万円減額

答 行政報告書などで工夫する。

◇国民健康保険

3407万円減額

◇農業集落排水

1106万円減額

問 特別調整交付金の増額になった理由が具



建設を待つ道の駅用地

平成27年度

有利な財源を活用し

安全安心なまちづくり

一般会計補正予算

全員賛成で可決

1222万円の増額補正 ▶ 総額44億7022万円の



本一の崩れそうな水路壁

主な補正財源

- ◇農地耕作条件改善事業
業分担金(水路改修) 42万円
- ◇農地耕作条件改善事業補助金(県) 305万円
- ◇ふるさといいじま応援基金繰入金 51万円
- ◇地域福祉基金繰入金 減額36万円
- ◇宝くじ助成事業 860万円

主な使いみち

- ◇一般コミュニティ助成事業 500万円
- ・日曾利 祭り用品
- ・南割 除雪機ほか
- ◇地域防災育成事業 260万円
- ・本三 ガスコンロ
- ・南街道 テント
- ・ほか
- ◇農地耕作条件改善事業 605万円
- ◇消防団活動服など 30万円
- ◇コミュニティ助成事業 103万円
- ・消防団防火防寒衣
- ◇七久保小学校修繕など 66万円

請願・陳情の審査結果

内 容	提出者	付託	本会議結果
陳情 年金の安全かつ確実な運用を	連合上伊那	総務	採択 賛成 10 反対 1 意見書提出 賛成 被保険者の利益を守るため 反対 国は安定運用に取り組んでいる
陳情 安保関連法案に反対を	伊那谷九条の会	総務	採択 賛成 8 反対 3 決議 賛成 「平和宣言の町」に反する 反対 平和宣言に反していない
請願 地方自治の尊重を	地方自治の本旨を守る会	総務	趣旨採択 賛成 11 反対 0 趣旨を生かした意見書提出
請願 35人以下学級推進を	町学校職員組合	社文	採択 賛成 11 反対 0 意見書提出
請願 義務教育費国庫負担堅持を	町学校職員組合	社文	採択 賛成 11 反対 0 意見書提出

どうする林道巨石落下

平成27年度予算関連および平成26年度事業状況の現場を調査しました。

◇林道横根山線

のり面崩落箇所

シオジ平自然園に向かう林道で落石が4月1日発見されました。林野庁の工事を行うため、国が落石を破壊し仮復旧しました。工事車両以外全面通行止めとなっています。今後の対策を国・県と協議しています。



40トン? の巨石

◇樽ヶ沢浄水場

標高900mにある

浄水場は老朽化が進んでいます。24年度から26年度までの改修工事で、管理システムを含み設備が近代化されました。本年は情報伝送装置更新工事を2851万円の予算で計画しています。

◇中央道跨道橋

上ノ原第二水路橋

水路橋中央付近が建設当時のずさんな工事により亀裂が入り、落下の恐れがあります。安全確保のため、当面跨道橋に仮設のパイプを設置して水量を減らしています。本格改修はネクスコと協議中です。



除去後

◇道の駅 田切の里

建設予定地

造成工事が完了しました。建物は一般競争入札を行い、7月着工し3月完成の予定です。

補正予算審査

平成27年度一般会計補正予算の分割付託分を審査し、全員一致で可決すべきものと決定しました。

【質疑】

問 消防団の防寒服は防水加工になっているか。雨対策は必要だがカッパの支給はあるか。
答 小雨程度には対応するが防水加工にはなっていない。部長以上に23着購入して、徐々に詰所に配備していきたい。カッパの支給はない。

採 択

陳情 決議

安保関連法案に反対を

提出者 伊那谷九条の会 角 憲和氏
賛成 5 反対 0
内容 「非核・平和宣言の町」に反する集団的自衛権の行使に基づく安保関連法案に、反対の決議を求める。
賛成 宣言の理念が脅かされる憲法の拡大解釈である。決議内容は町の宣言の理念に立ち、集団的自衛権の撤回を求める。

採 択

陳情 国へ

年金の安全かつ確実な運用を

提出者 連合長野上伊那地協 北澤 洋二氏
賛成 5 反対 0
内容 年金積立金は、被保険者利益のために運用を。
賛成 運用益も大事だが、安定性が求められる。加入者の意思が生かされる管理体制も必要。

請願・陳情審査

問 CATV行政チャ
ンネルで使用する曲の
著作権料は。

答 加入世帯数による。
3千世帯までが5万円。

問 自主防災会の資機
材選定には失敗もある。
区長総代会での意見交
換や情報提供ができる、
横の連携をとる体制作
りが必要だが。

答 情報交換は区長総
代会にかけていく。

【賛成討論】

補助金・助成金を活
用している。今後も住
民要望の実現に向けて
対応してほしい。

生活密着型で地域防
災などに視点を置いて
おり評価できる。

きじ なく 雄の啼く丘

つきよだいら
月 譽 平

毎年恒例の農業委員
会と議会の交流会を行
いました。

今年は、耕作放棄地
を再生した「月誉平栗
の里」の視察、花卉ハ
ウス見学、栗菓子作り
を体験しました。

「月誉平栗の里」は平
成23年に地主45名全員
参加で設立されました。
荒廃化する農地をみん
なで守るため、栗を
4・6ha新植し、平成
26年度から収穫を開始
しています。

この取り組みが評価
され、県知事表彰に続
き、このたび全国農業
会議所表彰も受けまし
た。



農業公園のような栗林

うまうできた？ 栗菓子

来年オープンする道
の駅田切の里へも参画
します。

栗の産地、飯島町の
中核的担い手として今
後の発展を期待します。

また「道の駅花の里」
に隣接する花卉ハウス
で、全国的にもまれな
ナデシコ栽培を、土づ
くりから成功させた事
例を学びました。

趣旨採択

請願 国へ

地方自治の尊重を

◆内容

沖縄の新基地建設問題の解決にあ
たって、地方自治の尊重を政府に求
める。

賛成

現在、国と地方自治体の関係は正
常とは言えない。問題解決の方法に
圧力がかかるようなことはあるべき
でない。

趣旨採択

地方自治の尊重は理解できる。新
基地建設反対の意味でなく、沖縄基
地問題を話し合いで進めるべきとの
提出者の趣旨を汲んで趣旨採択が良
い。

賛成

戦争をしたいとは誰も思っていな
い。

賛成

町は平和宣言をしている。集团的
自衛権の行使は憲法改正の手続きを
踏むべき。

提出者

地方自治の本旨を守る会

紹介議員

中川 賢俊氏
濱田 稔

賛成 5 反対 0

校内樹木 安全最優先の管理を

平成27年度一般会計補

正予算の分割付託分を審

査し、全員一致で可決す
べきものと決定しました。

また、関係する

・図書館東の遊具

・飯島小放送設備

・子育て支援センター遊
具

・七久保小雨漏り補修箇

所および樹木の枝落下

現場

の視察審査を行いました。

子育て支援センターで

は、大きな積み木の布張

り補修を保護者の皆さん

が協力して行ってくださ

ったと、職員から伺いま

した。

七小では、樹木の枝落

下現場を確認し、児童な

どの命にかかわる危険性

の高い事故であったこと

を痛感しました。

【質疑】

問 七小の「ヒマラヤ

杉」の枝落下を受け、

今後の管理をどう考え

るか。

答 成長期でない冬期

に頭を止める。

問 学校運営にかかる

年間予算で、樹木全体

の安全管理を考えるべ

きでは。

答 そのような対応を

行う。緊急措置として、

全校に点検指示を出し

た。各学校では用務員

に見回り点検管理を行

わせている。

問 七小南校舎の雨漏

りに業者側の施工責任

は考えられないか。

答 築10年以上経過し

ており業者責任はない。



七小樹木の枝落下現場

問 三沢城公式招待を

受け訪問したが、今後

も交流を続ける考えか。

答 今回は、関係する

飯島氏のみでなく町職

員も訪問することとし

た。今後のことは検討

していない。

問 七小の雨漏り現場

は、長い時間の経過が

うかがえる。早期に対

処すれば建築寿命が延

びるので、日頃の適正

管理が大切では。

答 そのように努力す

る。

【現場審査意見】

七小樹木の枝落下は、

生木であったことを考

えると、事前予測は不

可能と思われる。場所

が体育館玄関前であり、

人身事故につながらな

かったことが奇跡的で

ある。

記念樹など意義深い

ものであっても、人の

安全を最優先して対策

を講ずべき。

請願審査

採 択 請願 国へ

35人以下学級推進を

提出者

町学校職員組合

紹介議員

なかやま ゆうた
中山 雄大氏
坂本 紀子

◆ 内容

国の責任による35人以下学級推進
と教育予算増額を求める。

【賛成】

目のいきとどいた授業のため、
35人以下学級が必要であることを、
教育現場の参考人説明で確認できた。
【賛成】 義務教育は国が責任を持つも
の。事業の財源は国が保証すべきで
ある。

賛成 5 反対 0

提出者

町学校職員組合

紹介議員

なかやま ゆうた
中山 雄大氏
坂本 紀子

◆ 内容

教育の機会均等と水準の維持向上
のため、義務教育費国庫負担制度堅
持を求める。

【賛成】

義務教育の無償化は憲法で規
定されている。自治体の財政力によ
って教育に差が出てはならない。

【賛成】

交付税は一般財源化されてお
り、必ずしも交付分が教育に充てら
れているとは限らない。国が教育に
重きをおく意味においても、2分の
1の負担率に戻すことは重要。

採 択 請願 国へ

義務教育費国庫負担堅持を

町政を問う

ここが聞きたい

11議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

久保島 巖	職員再任用	住民感覚とズレがないか	P 9
竹沢 秀幸	地方創生	どう捉えるか	P10
橋場みどり	青年海外協力隊	所外活動の受入れを	P11
折山 誠	太陽光発電	景観保全に抑止強化を	P12
中村 明美	子育て支援センター	文化館へ移転を	P13
堀内 克美	スクールバス運行	ルートの見直しを	P14
北沢 正文	農業・農村活性化	計画は変わるか	P15
浜田 稔	地方創生	国の統制に対応は	P16
三浦寿美子	高齢者世帯	生活不安に支援を	P17
本多 昇	観光資源	千人塚公園の活性化を	P18
坂本 紀子	まちなか活性化	駅周辺の取り組みは	P19

追跡

あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後のゆくえ

平成26年3月議会 予算審査

- 問** 道路補修費はいつも決算額実績よりはるかに少ない予算が計上されている。年間に必要な予算は当初から計上すべき。
- 答** 交付税の額が決まらない段階での予算であり、スタートして弾力的に考える。

その後

平成26年度当初予算 約18百万円
→ 平成27年度当初予算 約29百万円

決算実績レベルの予算案に。



補修前



工事中

平成26年9月議会 一般質問

- 問** まちづくり推進室と定住促進室に観光を加え「企画観光課」を新設すべきだ。
- 答** 新年度以降に向けて総体的に検討する。

その後

平成27年4月「企画政策課」発足

まちづくり推進室・定住促進室・財政係で構成



久保島 巖

職員再任用

住民感覚とズレがないか

適宜的確に活用 町長

問 今年度2人の課長が再任用された。平成14年の条例化以来、初めてのことだ。

民間の感覚とズレがないか。多くの疑問の声がとどいているが。

町長 退職した人の臨時採用とは少し違う。身分保障がされた再任用制度は初めてのことで、国県からも、市町村の実情の下に適宜的確に活用するよう指導を受けている。

昨年度末に大量の課長職が退職となり、喫緊の重要課題や懸案事項にあたってもらうため再任用した。

副町長 給料は条例の再任用を適用。昇給はなく、諸手当も一部支給されない。課長職の処遇がそのまま引き継がれることはない。

問 過去には38歳で課長になった人もいた。年齢で言えば、女性にも適任者がいたし、若

年層をもっと登用しても良かったのでは。

現職の職員のモチベーションが上がるといえるように登用をすべきだ。

町長 人事は大変難しい。職員の登用は男女を問わず、知識・能力・評価など基本的なことを踏まえて行う。分けて隔ての中で行う気は毛頭ない。

マルシェの現状は

問 東京三鷹市の「信州いいじまマルシェ」は本格運用が始まった。まだ、2ヶ月足らずだが、状況はどうか。

町長 売上は1日平均4万3000円、客数は1日65人、客単価は660円。

売上では当初の見込みに比べ、半分強という状況だ。

問 人員体制はパート3人と商品調達のマ

ネージャーの4人の計画だった。大家が店長に配置され、家賃を含め20万円払われているらしいかどうか。

また、マネージャーがすぐ退職してしまうなど問題が多い。

コンセプトに基づく、きちんとした契約がなされていないから問題が起きる。

変更があれば逐次報告して欲しい。

町長 大家さんの思い入れや現地の問題、出荷体制にも問題があるが、試行錯誤しながら、

少しずつ定着させていきたい。最初の思いは一本筋を通していく。

副町長 大家さんの強い希望で店長に採用し、報酬20万円と決めた。

ただ思ったように売上が伸びないので、本人からの申し出でパートさんと同じ時給に変更した。家賃の部分は含んでいない。

マネージャーの代替はまだづくりセンター職員で対応している。

問 平成26年度の繰越事業でマルシェの改装

計画がある。これをも少し様子を見てからにしてはどうか。だめなら、補助金を返還しても良いのではないか。

副町長 店舗を運営するうえで最低限の改装に留めている。店舗内の冷蔵庫・オープン冷蔵庫・商品棚・レジなど。また2階は店舗との連携のための設備で、三槽シンクと調理台など簡単な設備。

問 改装日程はどうなっているか。

副町長 それぞれの備品は4月末までに整えた。2階の改装まで完了したのは5月末。計画部分は終了した。

問 入口やパンフの置き場の改良が必要では。
副町長 店舗に手付ける予算もないので、現況の中で工夫していく。

〔以上2件質問〕



いいじまの発信基地に



竹沢 秀幸

地方創生

どう捉えるか

最大の好機 町長

問 「地方創生」をどう捉えているか。

町長 地方が主役となり国づくりを進める最大の好機だと捉える。

今年は町後期計画や地域複合営農の計画策定など、おおむね一斉に始まる。まちづくりは、今後5年間で密度の高いものになる。行政・民間を問わず、それぞれの知恵を結集して将来を考えたい。

問 総合戦略で、町の特性を生かした計画づくりと、町の魅力を磨くための戦略が必要。花火の町として花火大会を創設してはどうか。

町長 「総合戦略」は、この町ならではの固有

の情報発信源であり、将来に対するまちづくりの根幹を占めるものである。

提案は戦略推進会議で取り上げていきたい。企画政策課長 飯島の花火産業は伝統・技を持ち、古くから引き継がれてきている。全国各地においても夜空を

彩るよい花火を上げている。飯島の発信ということで大きく貢献している。

町内では、秋祭り・水中花火・大晦日の新春花火などがある。地域活性化・コミュニティの推進に貢献しており、これからの地域創生の要素に含まれ

てくると思う。

問 シオジ平自然園・南駒ヶ岳の観光資源を活かすため横根山林道の徹底的整備を。

産業振興課長 横根山林道の整備が必要である。今後関係機関と連携をとりながら計画を立て、後期計画にも盛り込む。

ぜひ観光資源として生かしていきたいと考えている。

問 栗振興で小布施に勝つ戦略を。

産業振興課長 第2ステージとして、50ヘクタール100トンを目指すしながら栗の栽培計画を立てていく。



花言葉「未来への憧れ」

町花にアルストロメリアを

問 新町発足60周年で、飯島町がルーツである

アルストロメリア（夢ゆり草）花言葉「未来への憧れ」を町花に加えて欲しいが。

町長 今後の課題としていろいろな面で慎重に検討したい。

問 60周年を機に、町民がこぞって参加できる「町民焼肉・ごはん・そば大会」を開催したら。

町長 観光協会など各種団体が連携する町民参加型イベントも一つの手。

〔以上2件質問〕



橋場 みどり

青年海外 協力隊

所外活動の受入れを

積極的に取り組む 町長

問 駒ヶ根青年海外協力隊には全国から年4回、20歳から39歳までのボランティアが集まる。協力隊精神の理解と実践・異文化理解・適応力・危機管理能力など70日間の訓練を受ける。

その中盤で普段の訓練と異なる所外活動を行っている。環境への適応・ボランティアに必要な資質向上の実践が目的である。

町の受入状況はどうか。

町長 農業以外では、平成19年からグループホーム「道」が職場体験という形で受け入れている。

農業では、初めて今年から5月に2日間受け入れた。

田切農産からの打診により、唐辛子の植え付け作業などの農作業体験を行っている。

今年の受入れは、直前に海外青年協力隊か

ら農家受入れの相談があり対応した。

所外活動の受け入れは駒ヶ根市以外では飯島町だけである。

所外活動は短期間でも、町の情報発信になり、交流の場の提供になる。町の農作業を通じてノウハウを習得でき、協力隊活動の実践において大変有益かと思う。

積極的に受け入れていきたい。

問 所外活動を知る農家では、来てもらいたいと言う要望が以前からあった。

駒ヶ根市の取り組みを見ると、所外活動を通じた交流の中から、結婚・定住につながっている。

また、農家に弟子入りをし、出荷できるまでに成長して自立した若者もいる。

町に若者が来てくれる、若者がいるという

ことは町が明るく活性化につながっていく。

農家の皆さんに所外活動を周知してもらいたい。

町長 この活動は移住・交流につながるといふ期待もある。

そこで、町が進めている交流・定住促進策の一環として捉えていった方がいいと思う。ただ2日間であるので、受入れ農家と訓練生との条件整備をしていかなければと思っている。

町の定住促進の一環として、交流も含め進めていきたい。

〔以上1件質問〕



訓練生から受入農家へ色紙



所外活動中



折山 誠

太陽光発電

景観保全に抑止強化を

調和づくりに努める 町長

問 町自然エネルギー基本条例制定後、該当する規模の計画や事業はあったか。

住民税務課長 平成26年度は19件の事業申請があった。うち、16件が稼働している。27年度は3件の申請があり地元と協議中。



これでいいのか田園風景

問 自然エネルギー推進政策は未来を見据え必要なものである。しかし大きな見地からは、全町民の景観という財産を次代に引き継いでいかなければならない。そのためには発電施設が景観保全に影響を及ぼす実態に合わせ、常に規則を見直して行くべきと思うが。

町長 自然エネルギー

の推進と景観保全など環境問題は、町民と共有し、調整すべき重要な行政課題として捉え取り組む。

問 噂では七久保地籍県道沿線に商業施設出

店の計画がささやかれている。そのような事実はあるか。

町長 道の駅付近は、ロケーションや、交通量などのメリットがある。それらのことからスーパー関係者が、地

権者の意向をとりまとめていると聞いている。農振・農転などの手続きはまだ無い。

問 地域では、2つのアルプスを望む景観が損なわれることを心配している。出店を拒むものではなく、行政が事業者に対し、景観に配慮した建築を指導・協議するように望んでいるが。

建設水道課長 景観法に基づく県条例により、県と連携して指導している。

内容的には建築面積が1000平方メートルを超える新築には、形・色・規模が周辺環境と調和するよう求めている。

管理放棄が進む民有林の対応は

問 「山林の公有化基準等に関するガイドライン」を策定中である。その中で、高齢化などにより管理できない個人林の荒廃をどのように対策しているか。

町長 管理放棄が進んでいる個人林の現状は町も危惧している。現在、管理に困る人から町に寄付してもらい、町有林化する基準の整備を行っている。具体的には、寄付希望の個人林は原則受け入れる。また、不要な人と欲しい人の仲介にも力を注いで行く。

いた、イメージを損なうので閉じたほうが良いのでは」と。

先に行われた同僚議員の質問からは、当初計画とは異なる職員採用や処遇の変更が明らかになった。

運営は、所期の目的に従い、町が主体的に行うべきではないか。

あまり家主の意向に振り回されるべきではない。町への熱い思いが背景にあっても、客に町を批判することはふさわしくないのでは。

副町長 月に一度職員が出向き、店員や店長の意見を聞き、町の意向も伝え運営を検討している。

アンテナショップ運営状況は

問 三鷹台アンテナショップを訪問した町民から感想が寄せられた。『店舗が粗末』『町の批判をしている店員が

町長 店員・品揃え・店のレイアウトなど課題は多いが、時間をかけて初期の目的達成に努力している。長い目・温かい目で見ていただきたい。

〔以上3件質問〕



中村 明美

子育て支援 センター

文化館へ移転を

複合効果もあり検討 町長

問 町は子育て支援センター移転を検討と聞
くが、新設では高額予
算があると危惧する。
既存の文化館に移転す
ることを提案する。

利用頻度が少ない館
内南の部屋を改修する
ことで十分機能を果た
せ、コスト面も新築よ
り抑えられる。

**充実した駐車場や遊
具での外遊び、図書館
にも立ち寄れるなど、
子育て環境として最適
である。同センターで
は、妊娠中から子育て
への自信を培う場にと
考えており、妊婦さん
の安全面も考慮する必
要がある。**

**利用するお母さんた
ちの声でも『文化館は
環境として良いし、行
政施設が隣接してい
て便利で嬉しい』と。**

**箱物を増やすことで
はなく、文化館への移
転を考えては。**

町長 平成19年度から
始まった事業であり、

以来、年々利用者が増
え手狭になっていく。
もう少し広くしたい。

**子育て支援から教育
につなげていくという
考えでもなんとかした
い。**

**文化館も検討に入れ、
年度はまだ明示できな
いが、ここ数年の内に
方向付けしたい。**

教育長 利用頻度が少
ないと指摘された創作
室・隣の会議室などは
生涯学習センター講座
で利用している。どう
調整していくかだ。

周辺状況から見て非

常に適地であるが課題
もあり、総合的にどう
クリアしていくか考え
ていきたい。

問 文化館内休憩場所
で茶ができ「お散歩喫
茶」的な所になること
がもうひとつの理由で
ある。また館内掲示の
町イベント情報や売店
にある町民の手芸品・
こまくさ園の作品も目
にとめてもらえる。

**若いお母さんたちが
町情報や町内作品に触
れることは、町で活躍
する人たちが町の取り**

組みを知る機会となる。
移転においては、町
の活性化にもつなげる
よう考えては。

町長 提案のとおりか
と思う。子育て支援と
複合的な効果もあると
思うので、今後検討し
ていきたい。

認知症になっても 楽しい環境を

問 認知症の人たちだ
けの居場所づくりには偏
らないで、安心して外
出できる環境づくりが
大切だ。町ぐるみで楽
しく生活できる仕組
みが重要だ。

**福岡県大牟田市の
「行方不明者SOS
ネットワーク」と「見
守り声かけ模擬訓練」
を参考にしたい。**

**認知症対策での課題
と今後の取り組みは。**

町長 超高齢社会を迎
え、認知症対策の推進
は極めて重要な課題と
考えている。

**認知症サポーター養
成講座を開催している。
これまで健康推進員や
介護者・郵便局員・美
容組合・建設会社や役
場職員も含め、43回6
69名が受講をしてい
る。今年も七小の児童
や地域ボランティアな
ど、幅広く講座を予定
している。**

**地域の見守りも必要
になると思うので、そ
れらの対策を総合的に
順序だてて、考えてい
きたい。具体例も参考
に今後取り組んでいき
たい。**

**そのほか
・文化館敷地の草刈り
作業**

**・災害時、口永良島の
経路表示のように、
迷わず迅速に避難所
へ誘導できるような
施策**
を質問しました。

〔以上4件質問〕



のびのびと楽しく遊べる所に



堀内 克美

スクールバス 運行

ルートの見直しを

保護者と協議を進める 教育長

町長 田切区から橋下の駐車場など3カ所の要望があり、管理者と協議を進めている。要望に沿って実現するよう努力している。

県に要望すべきでは。町長の積極的な対応を求めるが。

町長 長大橋の下すべてがフェンスで囲まれては、不毛な地のように残念。知恵を絞っていく必要がある。

国も道路づくり新しい感覚で臨んでいる。ハードルは高いかもしれないが精一杯努力していく。

〔以上2件質問〕

問 高架な長大橋で、橋下周辺が農業地帯という構造は他に例を見ない。橋下には高さ30〜40mの空間がある。橋下の有効活用できる延長はどのくらいあるのか。

建設水道課長 中田切川の河川敷、地元要望箇所などを除くと約600mは利用可能。

問 橋下の公園化を提案する。アジサイを植えるなどして公園化すること、病害虫対策や景観保護が図られる。

また橋の下公園は地域住民の利用の他「道の駅田切の里」との相乗効果が期待できる。

管理は、将来の少子高齢化を見据えて、国

バスを待つ



問 現在スクールバスが田切・本郷・日曾利地区（日曾利は現在対象者がいない）の小学3年生以下を対象に運行されている。運行に至った経過は。

教育長 昭和45年から昭和51年にかけて飯島小の3つの分校の本校統合が行われた。分校に通学していた小学3年生以下の児童の足を確保するため、分校跡を乗車場所として実施された。

は本郷駅・本郷公民館・与田切橋で乗車するルートである。利用状況は、田切路線が63%、本郷路線が95%となっている。

問 時代も変わり、ニーズも変化している。春日平の児童は追引集会所でないと乗車できない。新しい住民も増えている。定住対策も含め、田切路線では春日平を経由するなど、

4号橋下の活用を

問 田切地籍の伊南バイパス4号橋（990m）は完成すると県下第2位の長大橋となる。また橋の周辺が果樹などの農業地帯であり、雑草などによる病害虫被害が心配される。地元要望にはどう対応しているのか。



北沢 正文

農業・農村 活性化

計画は変わるか

基本的には変わらない 町長

問 現在、農業・農村活性化計画を策定中である。取り巻く環境が大きく変わっていく中で検証の結果、計画は変わるのか。

町長 基本的方向は変わらない。

3つの大きな方策を掲げ、具体的実践方針も示したい。

① 担い手の確保。

② 農産物の差別化とブランド化による競争力の強い産地づくり。

③ 非農家も含め地域全体で農業・農村を発展させていく体制の構築。

問 農村を維持していくには、家族農業・兼業農家の役割が大きい。振興の方向付けは。

町長 10年後を見据えた集落営農のあり方の中で、家族農業・兼業農家の支援を行う。

問 農業の担い手環境

に変化が生じる中で、農業後継者を町はどう見通しているか。

町長 現在の計画では見通しや目標を定めていない。

後期計画では地区ごとに10年後を見据えた2階建て方式の方向性を示す。その中で担い手や新規就農者の育成目標と支援策を明確化していく。

問 子どもたちが農業に興味を持つ教育も計画に盛り込まれるか。

町長 盛り込む。総合教育会議で取り上げる。

教育長 将来地域に戻り担い手となり、町を支える子どもを育てる理念で教育大綱を策定したい。

問 地産地消を進める

上で、学校給食での町内農産物の利用拡大は5年間で進んだか。

教育次長 26年度6月では21%、11月では28%利用している。

問 直販生産組織の育成は5年間でどのような進んだか。

産業振興課長 「道の駅花の里いいじま」では会員が180名で、研修や野菜栽培などの研究を行っている。

これからは、コイデイナー役などを配置して町全体の底上げを図っていききたい。

問 公の施設である農

産物直売所は設置目的や指定管理者制度の意義が生かされているか。

産業振興課長 道の駅を利用して地域に暮らす人々の豊かさの向上に寄与している。またサービスの向上や町の負担軽減の意義は十分満たされている。

町長 単なる経費との関係で片づけられるものではない。民営化は毛頭考えていない。

問 2つの道の駅の委託料の管理区域、実績などの検証が的確に行われる体制は。

産業振興課長 報告書の提出を義務付け、管理・経理の内容を検証している。

問 田切の道の駅を指定管理者制度で運営委託していくとすれば、体制が整うのはいつか。また関係条例の整備が必要では。

町長 運営は近々地元が設立する株式会社に全面的に委ねて行く。必要な条例の整備はもう少し詰める。

問 駒ヶ根や松川と連携し、中央道を降りて道の駅などに寄ってもらう仕組みはできないか。

町長 県の制度も活用し、連携を取るよう支援も含め検討したい。

〔以上1件質問〕



地産地消を進めましょう



浜田 稔

地方創生

国の統制に対応は

地方が主役で進める 町長

問 アベノミクスと地方創生法の関係をどう捉えているか。

町長 アベノミクスは、特区構想に見られるように大都市圏に偏重した成長戦略で、恩恵は地方に及ばなかった。

地方創生は大都市一極集中への是正政策だ。

問 町長の『政府の安保法案は平和国家からの変質ではないか』『地方創生戦略が押しつけであってはならない』との議会招集あいさつを評価する。国が軍事に傾けば、上からの統制や全体主義が進み、地方政治にも及ぶことへの懸念と受け止めた。ところが、町の地方創生の策定戦略協議会

21人の委員のうち2人が県職員、4人が金融機関、報道が3人だ。チェック機関である

議会は参加しないが、県・金融・報道も政策策定から距離を置くべきだ。

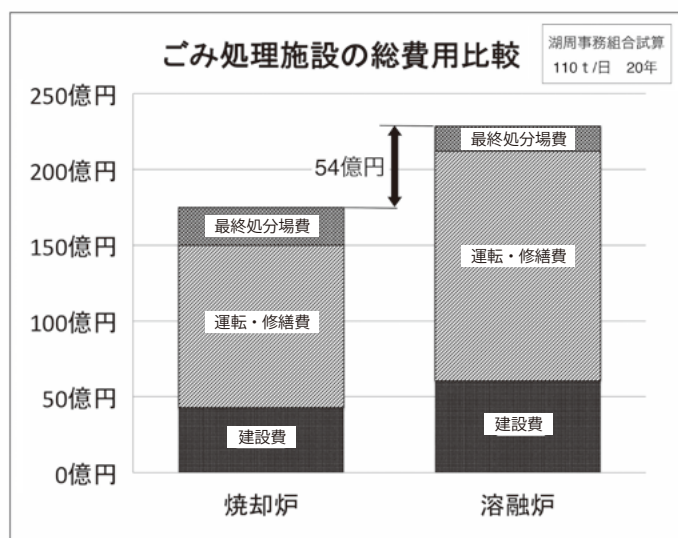
国の戦略に沿わないと交付金が出ないとも言われている。

地域の総意を反映した策定ができるのか。

町長 推進組織は国の示すパターンに従ったが、報道2社は参加を辞退した。交付金はほしい。

創生戦略には、町が抱える地域の問題を盛り込む。

地方が主役となって自ら考えて行動を起こす。



高い買い物がお好き?

ごみ焼却炉 むだ遣いでは

問 上伊那広域議会でも新ごみ処理施設建設に210億円の債務が認められ、事業が動き出

す。高額の溶融炉だ。

ところが南信州広域(下伊那)や湖周事務

組合(岡谷・諏訪・下諏訪)は、より安い焼却炉に決定した。上伊那と同規模の湖周事務

組合の落札価格は、運営費込みで128億円だ。

コスト比較もせず、溶融炉ありきで進めているのではないか。

町長 平成22年に比較を行い、溶融方式に決定した。埋め立てごみを掘り起こして再溶融する計画が中止になった今年、改めてコスト比較を行なった。最終処分場の費用も含め、溶融方式とした。

問 今年行ったコスト比較は上伊那広域議会にも提出されていない。しかも溶融炉と焼却炉の本体価格が同じだという計算には根拠が無い。

県内では焼却炉が26基に対し溶融炉は1基だ。税負担者に説明のつかないむだ遣いではないか。

町長 ごみ処理施設には、上伊那の各市町村議会からも質問が増え

ているようだ。しかし広域連合のスタッフが取り組んできた結果を良とせざるをえない。

太陽光パネル 条例強化を

問 町の自然エネルギー条例は県内でも先進的なものだ。しかし1年余の経過から条例の補強を提案する。

・事業者の地域事前説明の徹底

・住宅との緩衝帯や植栽の義務づけ

・騒音や電磁波障害の測定

・パネル反射光のシミ・ユレーション義務化などだが。

町長 自然エネルギーの活用は、地域に受け入れられるものでなくてはならない。町内から寄せられた声も含め、検討課題としたい。

(以上3件質問)



三浦 寿美子

高齢者世帯

生活不安に支援を

潜在的な地域力で 町長

問 昨年10月1日現在、高齢化率は33%、65歳以上が3200人超である。高齢者のひとり暮らしは450人で、平成24年度より61人増えた。高齢者のみの世帯も増加が進んでいる。介護認定対象外であつても、日々の生活に不安を感じている人がいると思われる。現状をどう捉えているか。

町長 第7期高齢者福祉計画を策定した。実態調査で、特に地域の人にして欲しい支援は・災害時や急病などの緊急時の手助け・外出する時・買い物のこと・定期的な声掛け、見守りが多い。

日常生活で身の回りの手助けがあれば、地域で安心して暮らし続けられると感じている人が多いことが分かった。民生児童委員・社協

と連携し、安心して生活できる体制づくりをすすめる。

問 介護認定対象外であつても、生活に不安を抱えながら何らかの支援を求めている。現在の支援策で対応は可能か。

町長 今後潜在的な地域力を生かした人と人とのつながりで、近所のコミュニケーションの機会を多くすることが大切ではないか。

共助の支え合い体制をつくることが重要になる。

公的制度によらない日常の支援こそ、高齢者の生活や危機管理に重要な役割がある。いろいろな災害の事例を見ても、うまく機能したところが評価されている。不測の事態に備え日頃からの対処が重要である。

そのためには、ひとり暮らし・認知症の高

齢者見守りネットワークづくりが必要である。社協・ボランティア団体・自主防災組織など、既存の活動団体により現在も生活支援が行われている。町は、これらの団体と連携した策の構築を、関係機関と協力して検討していく。



人と自然にやさしい いいちゃん粉石けん

石けん使用

条例に

問 4月16日に「飯島町粉石けんをつくる会」の10周年記念で、桂川雅信氏の講演があった。

合成洗剤には、自然界に存在しない化学物質が使用されていることを学んだ。

健康被害と河川の汚染など合成洗剤の危険性を理解し、石けんの利用を促進する取り組みが必要である。

「飯島町さわやか環境保全条例」に、町内の廃油で作っている粉石けんの利用促進を盛り込むべきでは。

町長 健康と同時に河川浄化の問題、環境維持の問題もある。正しい使い方などを、行政としてPRしていく必要がある。

条例で明文化する考えは無い。

〔以上2件質問〕

いいちゃん粉石けん

この粉石けんは、使用済みの廃食油を原料とするリサイクル石けんです。体にも環境にも優しく、安心してお使いいただけます。今回新しくEM菌を配合しました。臭いも薄え、より環境にやさしい粉石けんになりました。

食器洗いにも毎日の洗濯にもお使いいただけます。換気扇の手ごわい油汚れにも、靴洗いやお風呂の掃除にもお使いいただけます。洗濯の際の静け残りが気になる場合は、あらかじめ、ぬるま湯などで軽く溶かしてからご使用ください。

(石けんの使用基準 水45Lに石けん40〜50g)

手作り石けんを使って、「アトピー性皮膚炎が軽くなった」とか「手荒れがなくなった」という言葉をよく耳にします。合成洗剤には、人体に有害な物質や水質汚染の原因となる物質が多く含まれていると言われています。人体にもやさしく、自然環境にもやさしい手作り石けんに切り替えましょう。

私たちが未来を生きる子供たちに残したいものは



きれいな水と命です。

飯島町粉石けんを作る会
会長 伊藤志保恵
☎ 0265-80-3921



本多 昇

観光資源

千人塚公園の活性化を

国立公園指定をめざす 町長

問 「全国ため池百選」に千人塚城ヶ池が選定されている。

県観光情報では、『飯島町といえば千人塚公園』というほど地元では知名度がある』となっている。

しかし町内には道路の沿線や施設に、千人塚公園の看板もポスターもない。

町は城ヶ池を中心とした千人塚公園を、観光資源として考えていないのではないか。

町長 町の観光パンフレットやホームページなどでも、城ヶ池がため池百選に選定されたことを発信している。残念ながら観光に結びついていない。

問 千人塚公園はマレットゴルフが中心で、キャンプ場利用者は74人、与田切公園の1309人と大きな差がある。設備に差があるためだ。

千人塚城ヶ池は「ため池」として永久に維持管理していかねばならない。町は、将来にわたって重要な観光ポイントとして景観保全し管理して行く必要がある。

活性化を図るための長期ビジョンの策定が必要だが。

町長 外国人相手にした、*インバウンド観光が脚光を浴びるようになった。

与田切溪谷も含め中央アルプス県立公園内



「全国ため池百選」千人塚城ヶ池

に位置している。「ふたつのアルプスが見えるまち」を前面に出しながら国立公園への指定替えを推進したい。

*海外からの誘客

問 与田切公園、千人塚公園、シオジ平自然園を1つのエリアとし

て整備する長期ビジョンを提案する。
○横根山林道を整備しシオジ平まで早期に開通させる。
○与田切リバーサイド計画を復活させる。
○千人塚公園関係は、道の駅花の里に看板を建てる。

・ポスター・パンフレットを作る。
・キャンプ場の施設を与田切公園と同じにする。

・東屋(100人収容)を建てる。

・周辺を町が管理するため土地を取得する。
・国県の福祉・研修施設を誘致する。

町長 ハードルは高い部分もあるが、夢は夢として実現に向けて検討したい。大型バスを通すためには県道千人塚公園線の交差点整備が必要だ。

空き家対策は

問 空き家対策特別措置法が全面施行された。町はどう対応するか。

町長 県の空き家対策連絡協議会に参加し、条例化に前向きに取り組む。

耕地・自治会

呼称の統一は

問 住民意識調査の結果「自治会に統一」と「自治組織にまかせて町全体では自治会を使う」が60%となった。呼称の統一を推進するか。

町長 自治会に統一した方が良いとの回答は全体で47%だった。地区ごと考え方は拮抗している状況なので、町が強制的に呼称を統一することはできない。

担当職員の

利活用を

問 耕地・自治会と行政との橋渡しを目的に、耕地・自治会未加入者に広報など届け、意見を聞いて来る事を提案するが。

町長 職員の手を煩わして配るという負担を求めることは厳しい。

〔以上4件質問〕



坂本 紀子

まちなか 活性化

駅周辺の取り組みは

商工会とも連携 町長

問 平成25年に関係者10人でまちなか活性化協議会ができた。

A コープ飯島の建物は古く耐震性が無いが、住民に必要な店舗。

今後はどうするのか。

町長 大変重要と考え、存続のため経営者・JAと協議中である。

問 2階を子育て支援センターとして活用する考えは。

町長 今は改築の時期が不明なので、文化館の活用を検討したい。

問 「総合ケアセンター いいじま」敷地内にある旧コスモ21の建物の愛称が「こすもワクワク広場」と決まった。ここで月1回「こすも市」を開催。野菜・飲食などの販売やマツサージ・健康チェック・囲碁などが行われる。アイタウンの飲食店も500円ランチで協賛。

5月24日は手作りの特設ステージで様々の出演があり、多くの人で盛り上がった。

ここに活性化を進める隠れたアイデアや行動力がある。今後の支援は。

町長 上伊那医療生協により生まれ変わり、協力いただいた方々に感謝している。

町は、人的応援と資金面で国・県の支援制度が得られるよう協力

する。

問 昨年の冬、駅前にイルミネーションを飾り、9店が協賛しカクテルを提供した。

協力は飲食店だけ。商工会は『個々の経営指導に力を入れておりイベントが重要と思わない』と言われた。活性化の考え方が違う。

町長の考え方は。また、駅前空き店舗を借りての取り組みは。

5月24日は手作りの特設ステージで様々の出演があり、多くの人で盛り上がった。



特設ステージでの太鼓演奏

町長 商工会と協議会の連携不足がある。今年は商工会に大変期待をしている。厳しい現実はあるが、チャレンジしてほしい。

産業振興課長 地方創生の予算で、店舗改装とソフト事業を年度内に実施する。

問 駅前店舗での商品販売・町のPR・喫茶の計画は。

産業振興課長 検討中だ。人の集まる場所にしたい。

問 南割にある「田切クリーンセンター」は、平成5年から県の許可を得て、産廃浄水汚泥・不燃ゴミを埋めている。現在3ヶ所目で稼働中。

住民から『1年位前から増設話があり、最近多数決で決まり悲しい』といわれた。

ゴミ最終処分場の 町の考えは

今後情報の公開を要請していく。

問 議員には、計画が知らされていないかった。

住民税務課長 役場が把握したのは2月頃であった。

町長 デリケートな問題である。

〔以上2件質問〕

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力をお願いし、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は、あんどん市実行委員長の
こばやし てつお
小林哲雄さんに登場していただきます。

地域に根ざす

お祭りを求めて

今年は7月25日(土)
に開催

飯島町の中心商店街
飯島小路で、毎年行
われているあんどん
市も、今年で22回
目を迎えるとしてい
ます。

町・商工会・近隣耕
地・各団体のご協力で
今年も開催準備を進め
ています。
あんどん市は大小小



ことしもおでかけなんしょ!

の行燈が並び、軽トラ
ック市スタイルの出店
があり、道中・時代劇・
太鼓・神輿・代官行列
また、俳句会の皆さん
も加わり催し物を開催
してきました。

当初、冬のお祭りとし
て開催していましたが、
お陣屋祭りが終了し
たこともあり、また
寒い時期は実行委員
お客様が大変という思
いもあり、5年前から
夏の開催となりました。
実行委員会には「寄
合組」「総務全般」「市
場割組」「出店景観機
材制作」「市場大番組」
Ⅱ時代劇芸能の3つの
委員会があります。各
委員会は当日まで、い
かにお客様があんどん
市に来て下さって楽し
んでいただくかを求め
て、会議を日夜進めて
います。

ん市に来て下さったお
客様に楽しんでいただ
き、また少しでも多く
のお客様に来ていただ
く努力をしているとこ
ろです。

町と議会に望むこと

少子高齢化、人口減
少などでイベント・お
祭りを企画実行する側
でもスタッフを、確保
・運営するのが大変に
なっています。伝
統の行事など行いたく
ても運営人の確保が大
変です。

飯島町では各耕地・
自治会や団体などがい
ろいろな芸能、お祭り
などを行っています。
その人たちが集まっ
て、全飯島芸能お祭り
サミットのな事を行っ
て、問題を共有したり
協力出来ることは協力
して、内外にアピール
して、町全体で盛り上
げていく仕草の礎にな
ってもらえたら嬉しい
です。

議会だより クイズ

問題

林道の巨石は〇〇トン。
〇〇に入る文字は何でしょう。

ヒントは
4ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈
(締切は9/30、発表は発送をもって代えさせていただきます)



住所・氏名・年齢・解答とご意見などを記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

今年6月から、町長
の議会招集挨拶を受け
て一般質問を通告する
方式に変えました。
討論が一層かみ合う
議会を目指します。

発行責任者

議長 松下寿雄

編集委員

◎浜田 ○橋場 ・本多
・北沢 ・折山 ・竹沢